

平成 28 年度 市民アンケートの調査結果

抜粋

※全調査結果は、市ホームページからご覧いただけます。

平成 28 年 12 月

茅野市企画戦略課

目次

I	調査の概要	1
II	調査の結果	3
1	回答者自身に関する調査	4
2	市民スポーツに関する調査・ 省略	7
3	茅野市の食育に関する調査・ 省略	28
4	茅野市の縄文に関する調査・ 省略	36
5	茅野市の行政に関する満足度・重要度に関する調査・ 一部省略	39
6	第5次総合計画の策定に関する調査	64

I 調査の概要

I 調査の概要

1 調査目的

このアンケートは、市民の皆様には、これまで茅野市が進めてきた各種施策に対する意見、満足度・重要度、今後のまちづくりに対する考えを尋ね、市政に反映させることを目的としています。

2 調査内容

- 1 回答者自身に関する調査
- 2 市民スポーツに関する調査
- 3 茅野市の食育に関する調査
- 4 茅野市の縄文に関する調査
- 5 茅野市の行政に関する満足度・重要度に関する調査
- 6 第5次総合計画の策定に関する調査

3 調査設計

調査対象者	市内在住の20歳以上80歳未満の方
対象者数	1,900人
対象者抽出方法	無作為抽出。ただし、各世代の回答数が同率になるよう過去3年分の調査結果から回収率を割り出し、各世代への発送数を算出しました。
調査期間	平成28年6月10日（金）～平成28年6月24日（金）
調査方法	郵送配布郵送回収

4 回収結果

回収数 613人（32.4%）

5 その他

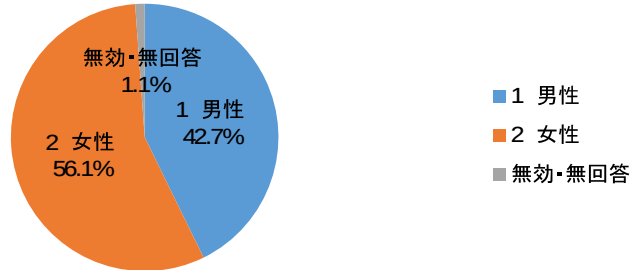
- ・割合はすべて％であらわし、小数点第2位または第3位を四捨五入しています。このため、％の合計が100％にならないことがあります。
- ・複数回答の設問は、回答数の合計ではなく回収数（613）又はその設問の回答対象者数により割合を表しています。

Ⅱ 調査の結果

1. 回答者自身に関する調査

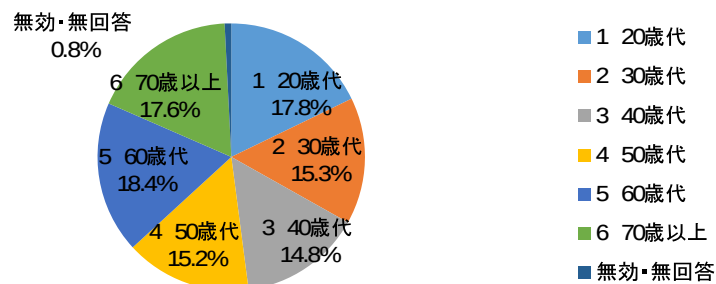
問1 あなたの性別を教えてください。(〇を1つ付けてください)

回答番号	データの個数	割合
1 男性	262	42.7
2 女性	344	56.1
無効・無回答	7	1.1
合計	613	100



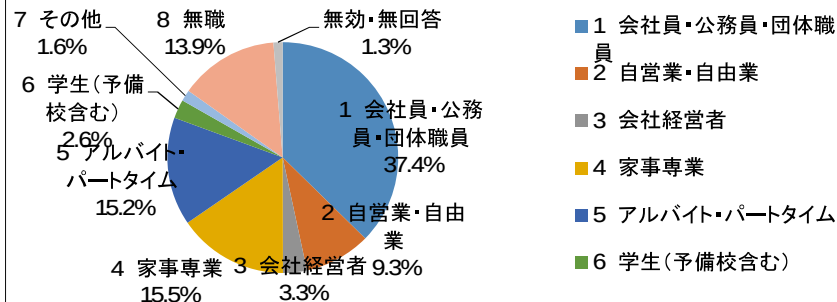
問2 あなたの年齢を教えてください。(〇を1つ付けてください)

回答番号	データの個数	割合
1 20歳代	109	17.8
2 30歳代	94	15.3
3 40歳代	91	14.8
4 50歳代	93	15.2
5 60歳代	113	18.4
6 70歳以上	108	17.6
無効・無回答	5	0.8
合計	613	100

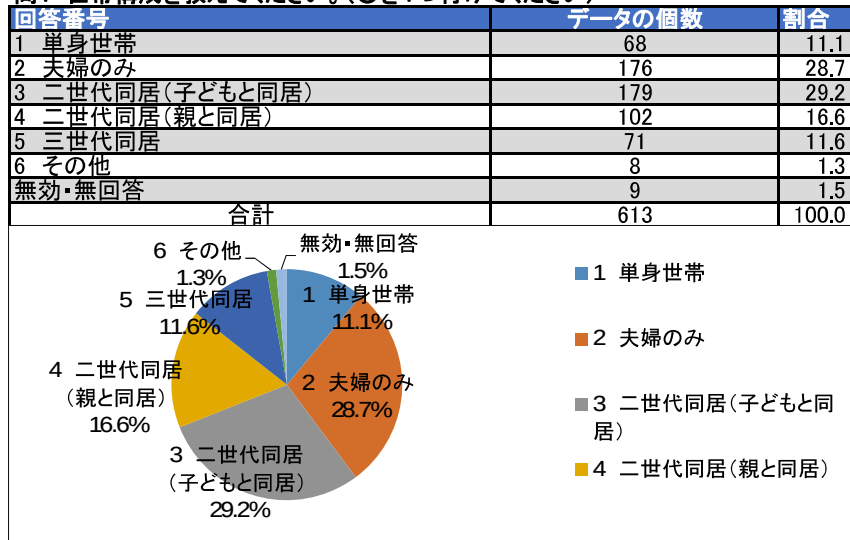


問3 あなたの職業を教えてください。(〇を1つ付けてください)

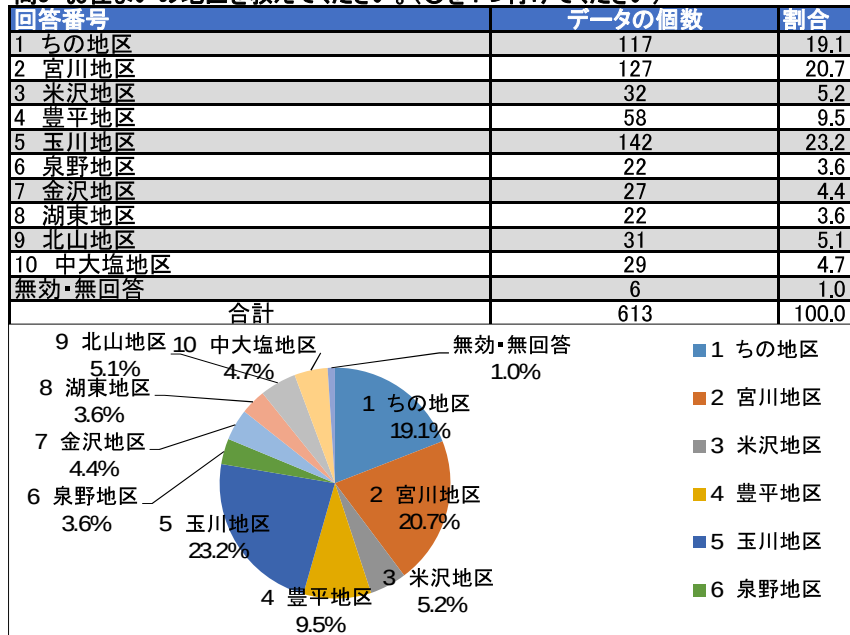
回答番号	データの個数	割合
1 会社員・公務員・団体職員	229	37.4
2 自営業・自由業	57	9.3
3 会社経営者	20	3.3
4 家事専業	95	15.5
5 アルバイト・パートタイム	93	15.2
6 学生(予備校含む)	16	2.6
7 その他	10	1.6
8 無職	85	13.9
無効・無回答	8	1.3
合計	613	100.0



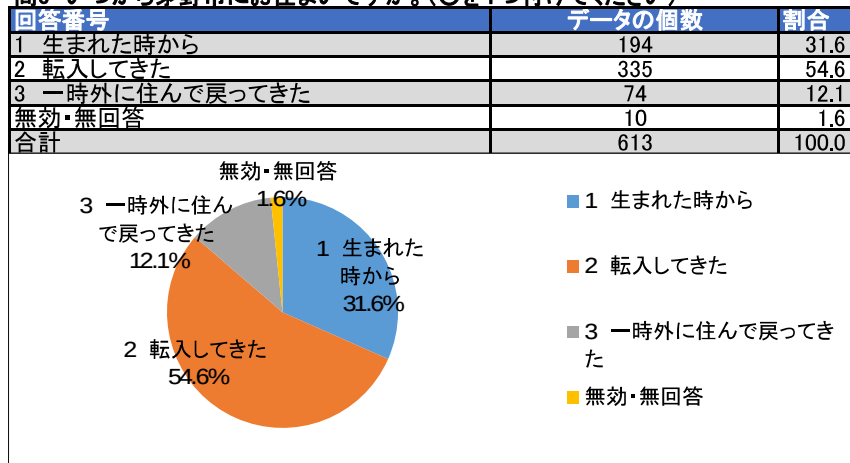
問4 世帯構成を教えてください。(〇を1つ付けてください)



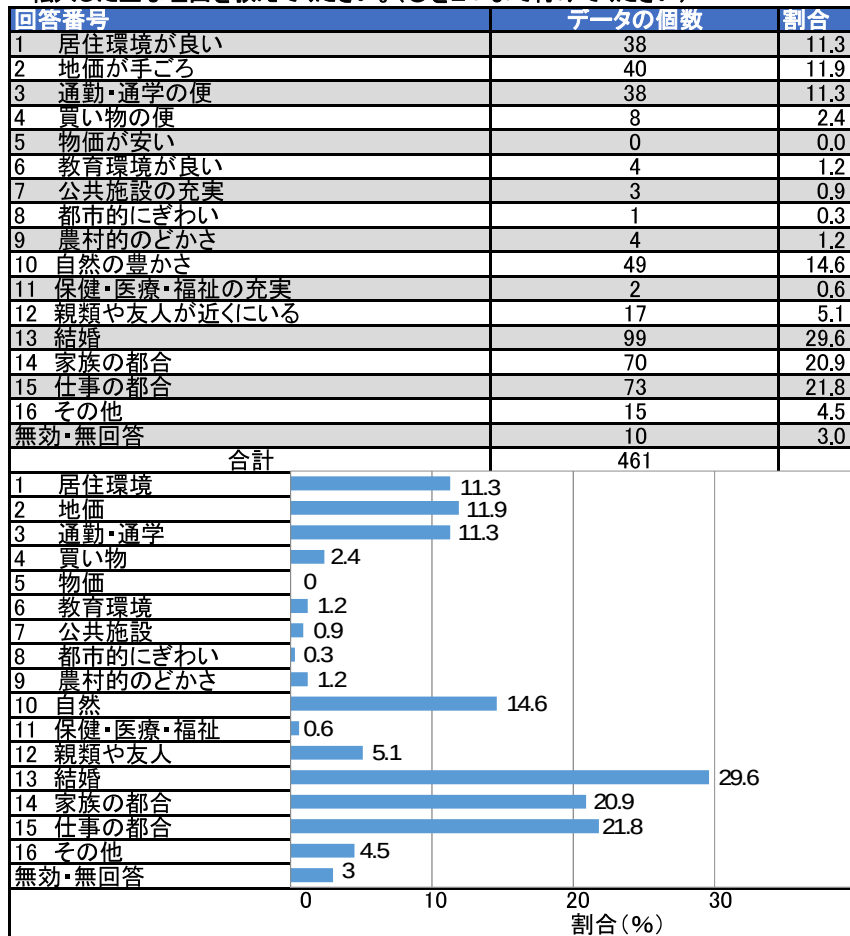
問5 お住まいの地区を教えてください。(〇を1つ付けてください)



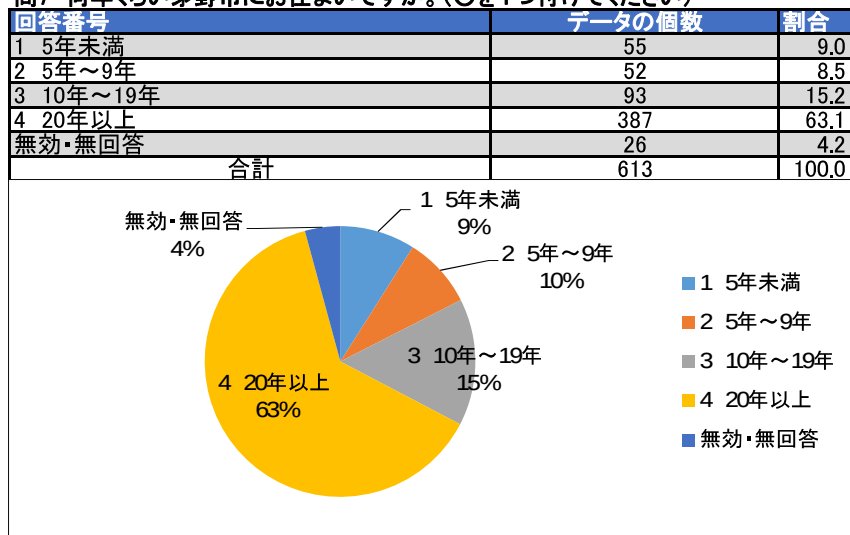
問6 いつから茅野市にお住まいですか。(〇を1つ付けてください)



問6-1 問6で「2 転入してきた」とお答えの方(335名)にお聞きます。茅野市に転入した主な理由を教えてください。(〇を2つまで付けてください)



問7 何年くらい茅野市にお住まいですか。(〇を1つ付けてください)

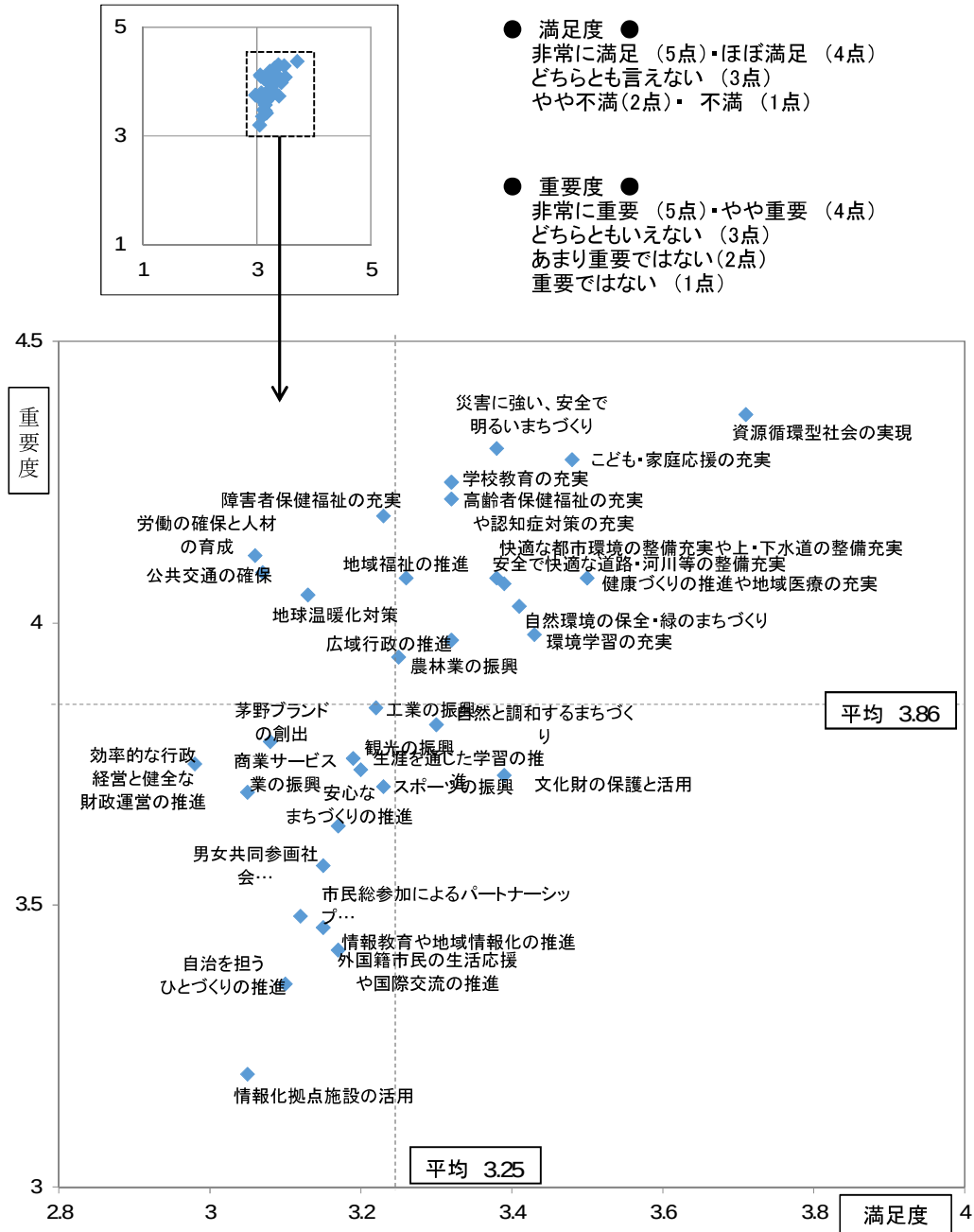


5. 茅野市の行政に関する満足度・重要度について

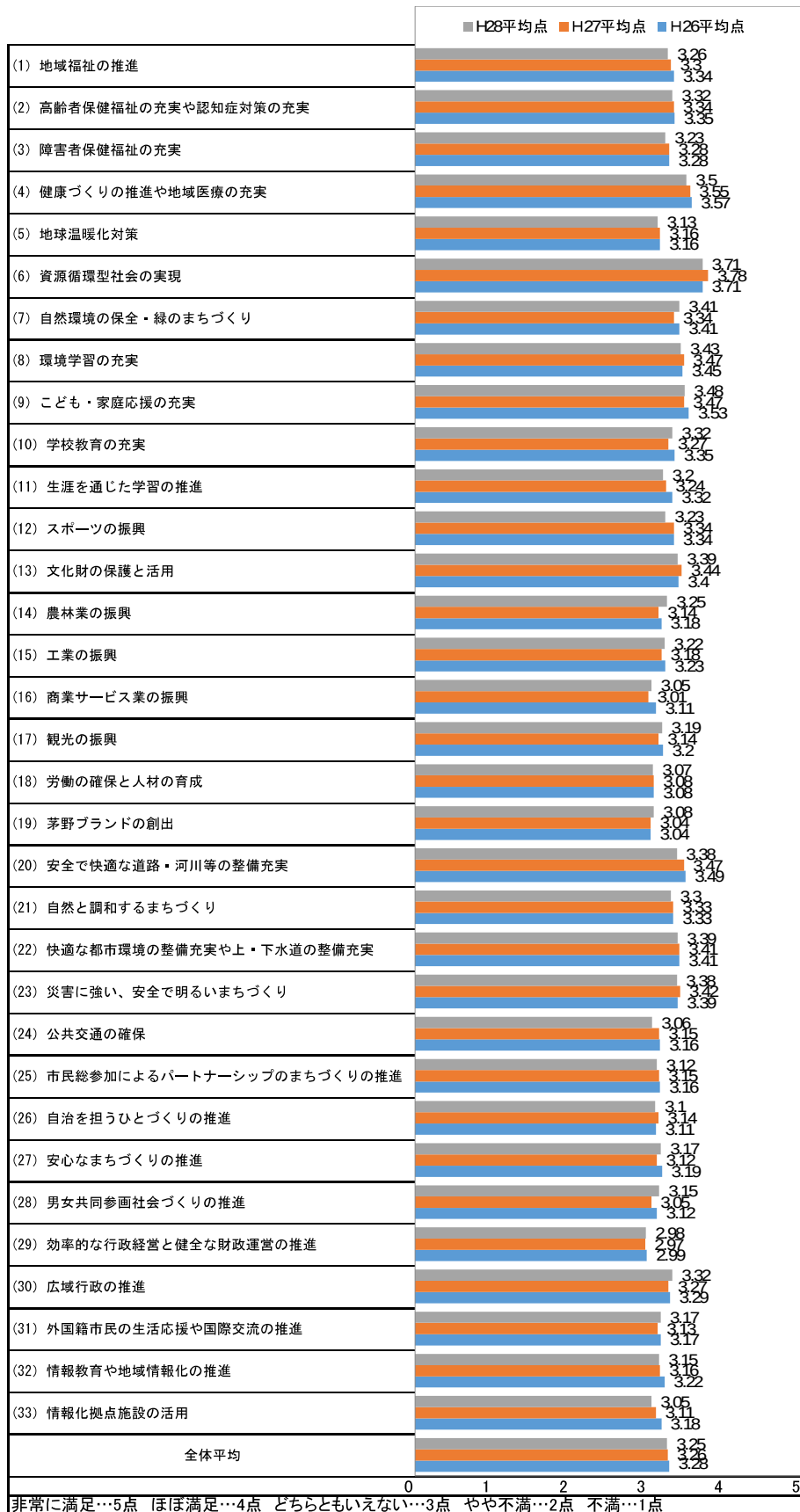
問 47 茅野市が実施している様々な取組について、あなたがどの程度満足されているか（満足度）、どの程度重要と考えているか（重要度）を教えてください。（○を満足度・重要度に1つずつ付けてください）

満足度集計表	40
重要度集計表	41
満足度・重要度 比較	42
満足度・重要度 順位	43
満足度・重要度 散布図	44
満足度 3 年間比較	45
重要度 3 年間比較	46
満足度 3 年間平均値	47
重要度 3 年間平均値	48
満足度 年代別集計結果	49
重要度 年代別集計結果	52

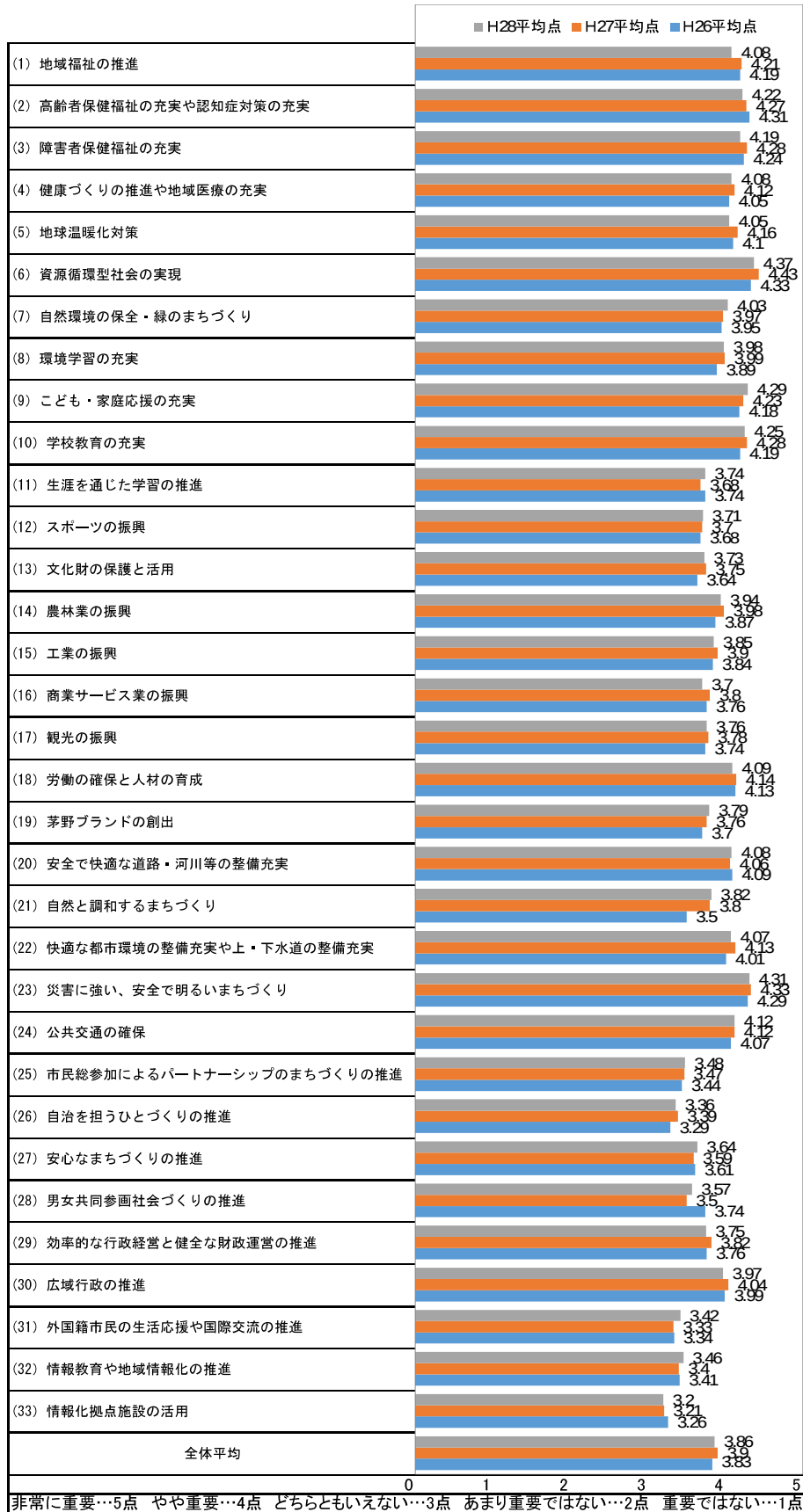
満足度・重要度 散布図



満足度 3年間比較

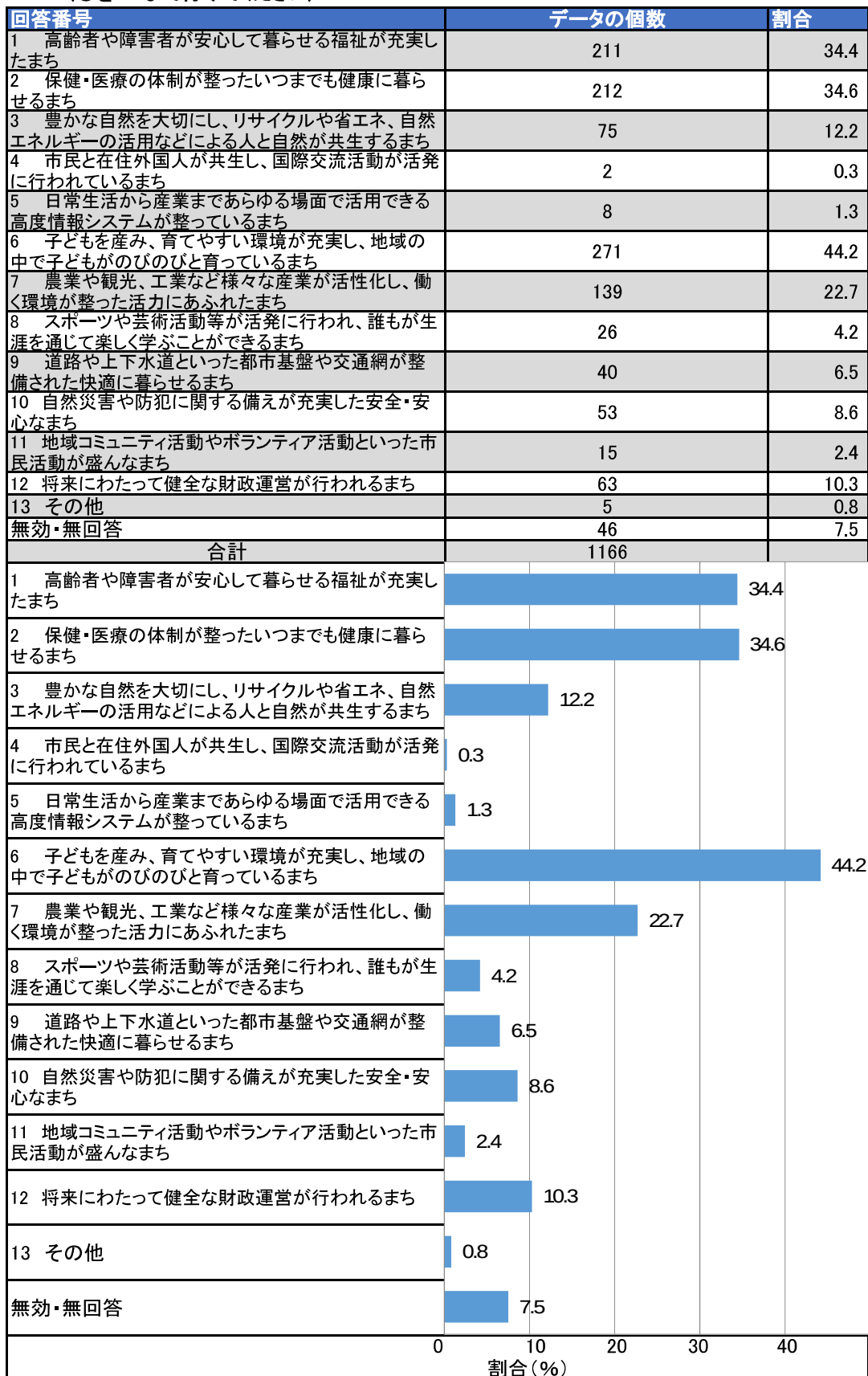


重要度 3年間比較



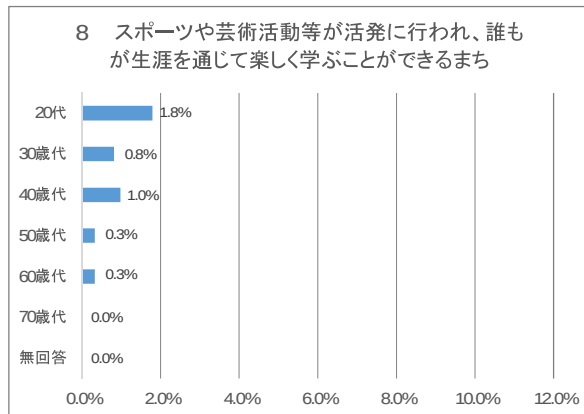
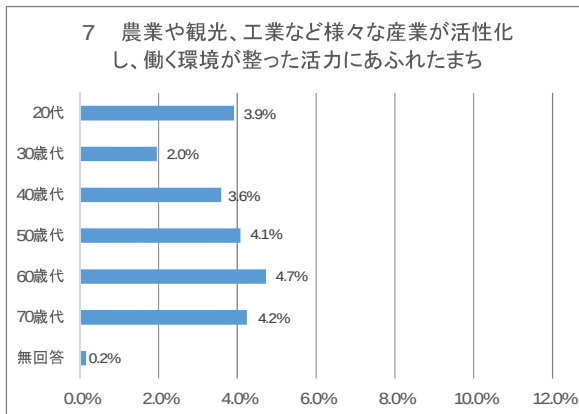
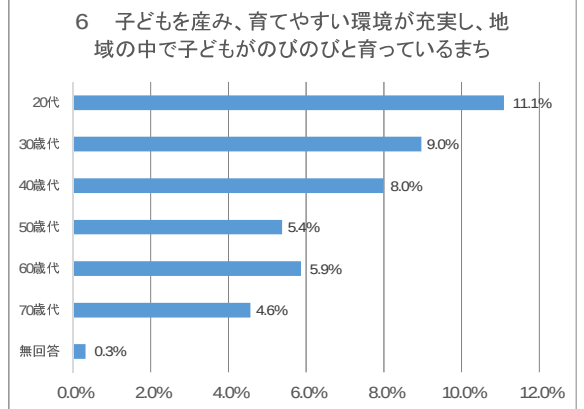
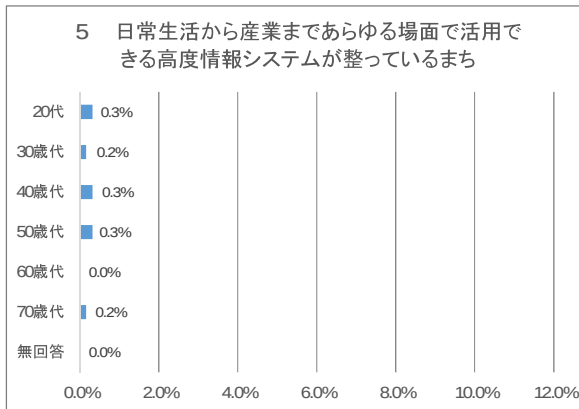
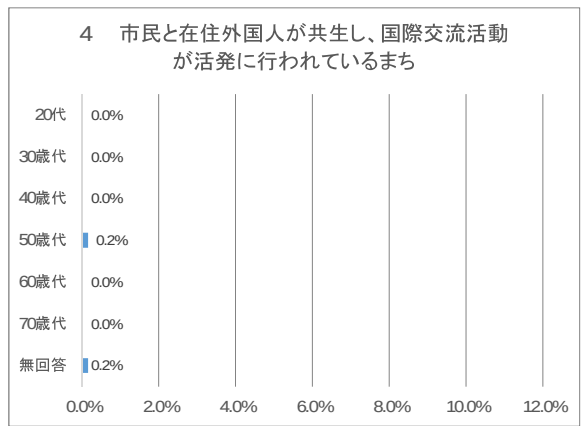
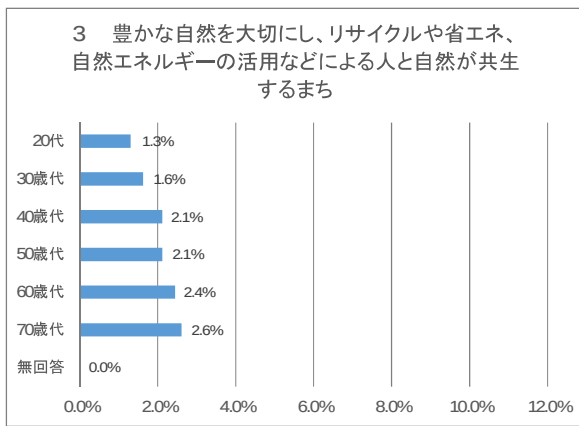
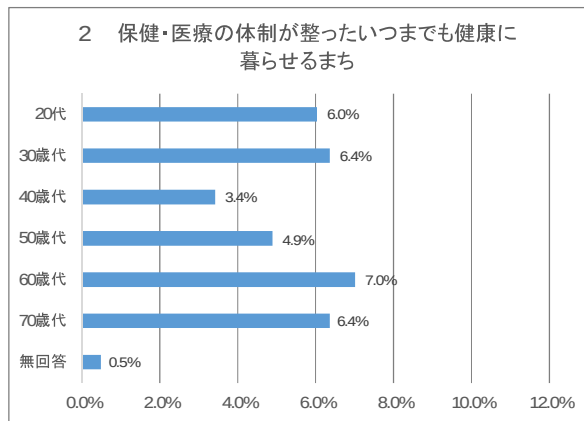
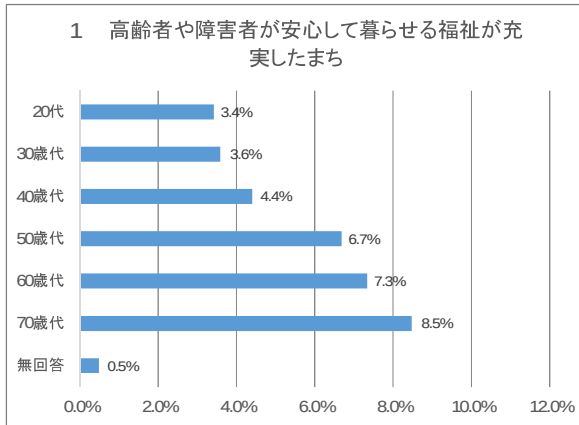
6 第5次総合計画の策定に関する調査

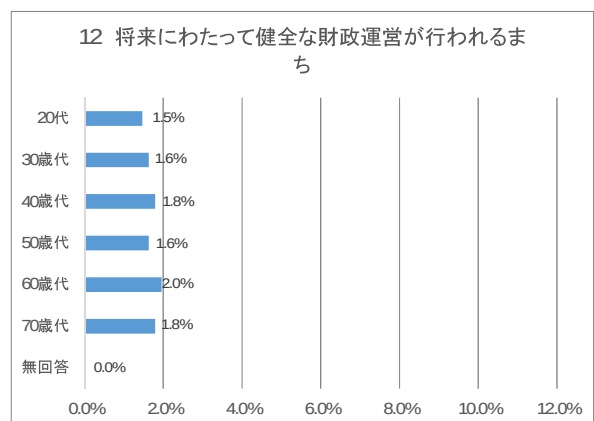
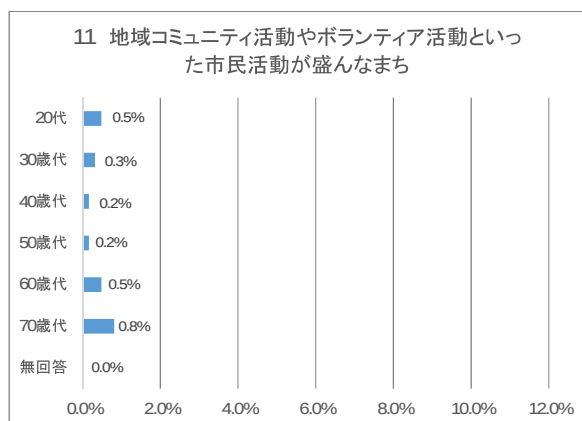
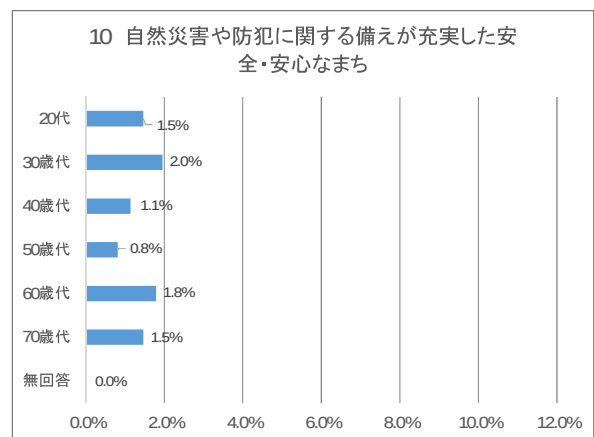
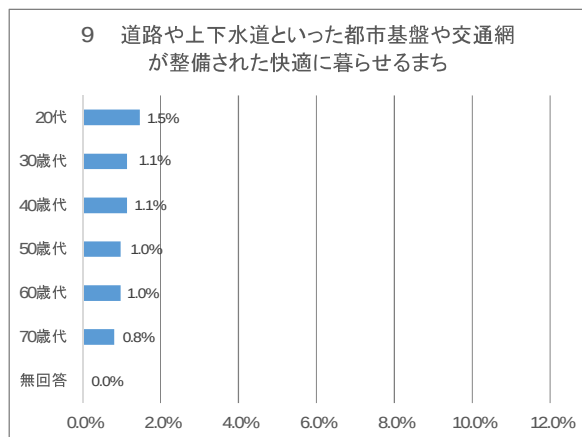
問53 10年後の茅野市が目指すべき“まち”の姿はどうあるべきだと思いますか。
(〇を2つまで付けてください)



問53 年代別 集計結果

選択肢	20歳代		30歳代		40歳代		50歳代		60歳代		70歳代		無回答		全体	
	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合	回答数	割合
1 高齢者や障害者が安心して暮らせる福祉が充実したまち	21	3.4%	22	3.6%	27	4.4%	41	6.7%	45	7.3%	52	8.48%	3	0.5%	211	34.4%
2 保健・医療の体制が整ったいつまでも健康に暮らせるまち	37	6.0%	39	6.4%	21	3.4%	30	4.9%	43	7.0%	39	6.36%	3	0.5%	212	34.6%
3 豊かな自然を大切に、リサイクルや省エネ、自然エネルギーの活用などによる人と自然が共生するまち	8	1.3%	10	1.6%	13	2.1%	13	2.1%	15	2.4%	16	2.61%	0	0.0%	75	12.2%
4 市民と在住外国人が共生し、国際交流活動が活発に行われているまち	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	1	0.2%	0	0.0%	0	0.00%	1	0.2%	2	0.3%
5 日常生活から産業まであらゆる場で活用できる高度情報システムが整っているまち	2	0.3%	1	0.2%	2	0.3%	2	0.3%	0	0.0%	1	0.16%	0	0.0%	8	1.3%
6 子どもを産み、育てやすい環境が充実し、地域の中で子どもがのびのびと育っているまち	68	11.1%	55	9.0%	49	8.0%	33	5.4%	36	5.9%	28	4.57%	2	0.3%	271	44.2%
7 農業や観光、工業など様々な産業が活性化し、働く環境が整った活力にあふれたまち	24	3.9%	12	2.0%	22	3.6%	25	4.1%	29	4.7%	26	4.24%	1	0.2%	139	22.7%
8 スポーツや芸術活動等が活発に行われ、誰もが生涯を通じて楽しく学ぶことができるまち	11	1.8%	5	0.8%	6	1.0%	2	0.3%	2	0.3%	0	0.00%	0	0.0%	26	4.2%
9 道路や上下水道といった都市基盤や交通網が整備された体適に暮らせるまち	9	1.5%	12	2.0%	7	1.1%	6	1.0%	6	1.0%	5	0.82%	0	0.0%	40	6.5%
10 自然災害や防犯に関する備えが充実した安全・安心なまち	9	1.5%	12	2.0%	7	1.1%	5	0.8%	11	1.8%	9	1.47%	0	0.0%	53	8.6%
11 地域コミュニティ活動やボランティア活動といった市民活動が盛んなまち	3	0.5%	2	0.3%	1	0.2%	1	0.2%	3	0.5%	5	0.82%	0	0.0%	15	2.4%
12 将来にわたって健全な財政運営が行われるまち	9	1.5%	10	1.6%	11	1.8%	10	1.6%	12	2.0%	11	1.79%	0	0.0%	63	10.3%
13 その他	0	0.0%	2	0.3%	0	0.0%	1	0.2%	2	0.3%	0	0.00%	0	0.0%	5	0.8%
無効・無回答	7	1.1%	5	0.8%	7	1.1%	6	1.0%	10	1.6%	11	1.79%	0	0.0%	46	7.5%
合計	208	33.9%	182	29.7%	173	28.2%	176	28.7%	214	34.9%	203	33.12%	10	1.6%	1166	190.2%





問54 新しい総合計画を策定するにあたり、10年後の茅野市の「望ましい姿」や「目指すべきまちづくりの方向性」などについて、ご意見・ご提案など自由にお書きください。

分野	ジャンル	内容
保健・医療・福祉分野	地域福祉	高齢化が悪いのではなく、長い経験を生かし、無理することなくできる範囲で自分の経験を与え合う、そんなまちになってほしい。皆が皆、素晴らしい1人であると皆が思えるようなまち。
		これから増える高齢者と減っていく子どもの活動で、winwinの関係をつくりたい。遠くの祖父母、遠くの孫より近くの祖父母、近くの子どもの方がよい関係を築きやすい、築けると思う。
		高齢者、子どもにやさしい社会にしたい。
	高齢者保健福祉	高齢化でどうなっているだろうか。いつまでも健康で暮らしたい。
		更なる福祉の充実を図り高齢者が安心して住める環境づくり。
保健	少子高齢化に歯止めをかけるのは難しいので、高齢者、障害者が安心して暮らせる町づくりと、いつまでも保健、医療が整った町づくりはこの先もなくしてはならない。	
保健	無料で健康診断は受けるのに健康管理はせず、医者という事は聞かずに病気が重症化して医療費の無駄遣いをしている人が多い。	
分野	ジャンル	内容
環境分野	生活環境	生活環境の良い茅野市にしてみたい。
		公共の場、レストランなどでは禁煙にし、受動喫煙を防止してほしい。
	自然環境	自然を守りつつ東京を見習うべき。
		適度に“いなか”でのんびりした雰囲気があるのが良い。民間と行政がアイデアを出し合って楽しく住みよい街になってほしい。もう少し民間のパワーが感じられるようになるともっと良い。
		茅野市には豊かな自然がたくさんあって、水もおいしいし、それが魅力でもあるので、必要なら、条例など作っていつまでも自然を守れるようにしてほしい。
		県外者、観光者のマナーをしっかりと規制し、豊かな自然を守っていけるような姿や対策が必要である。
		企業参入に際し、豊かな自然を守るため、50年100年先を見越しての判断をするために条例等で縛りをつけてほしい。守るべき場所と開発する場所を分けるのもひとつの方法である。
		自然を守って次の世代に引き継ぎたい。
		生まれてからずっと茅野市に住んでいます、私はこの茅野市が大好きです。今の自然を大事にすることで、子どもたちも住みやすい、育ちやすい茅野市だと思います。
		縄文でがんばるよりも市の自然を資産としてほしい。道路整備してほしい。
		世代交代ができる状況であり、さらにスムーズにバトンタッチできるだけのエネルギーが必要。その先に目標と成果がある。
		太陽光発電のパネルが田畑を覆っている景色が気になる。緑の木々のかわりに光の海のように。最終的にはこのパネルはどうなるのか、太陽の届かない土地はどうなるのかと心配がある。
		自然エネルギーとはいえ、田園風景の中や山の中に突然ソーラーパネルがどん！とあるのは、違和感がある。茅野はそうならないでほしい。暮らしやすくても、田舎であってほしい。
		建築、芸術と自然との融合、景観を大事にしたまちづくり。農業や特産品の生産、建築→雇用促進。空き家の改装、活用にも力を入れてほしい。
		こんなに素晴らしい自然に囲まれても活かされていない。空き家対策も取り組んでいるのか？休耕田もつたいない、本気でやってほしい。
分野	ジャンル	内容
子育て・教育分野	子育て	子育て世帯が安心してらせるよう環境を整えてほしい。
		子ども、子どもを育てる親を大切にしたいまちづくり。
		子どもを茅野市で育てたいと思える他市との差別化を望む。人が集まり、税収、労働、消費など、高いレベルで安定していくのではないかな。
		子どもを育てるにあたり、保育園、保育士の先生の存在は大きい。保育士の現場での大変さ、待遇等もう一度見直し、子育てのしやすい街をもっと実現して欲しい。
		未来を担う子どもたちへの政策に厚い支援を期待する。介護が必要になってから移住されても結局その方への幸せにはつながらない。(都会と同じものを求められても希望に添えない)
		子どもの教育や遊び場を整えることに予算を使って欲しい。
		これから少子になり、子どもの声が聞こえなくなると寂しい。運動、遊ぶ場所を作ってほしい。
		家に引きこもって育児をする方が多いことをもっと理解してもらいたい。もっと外へ出て育児ができる茅野だったらいいと思う。子どもに関することに力を入れてほしい。
		子どもがたくさんいるまちは様々なことが充実していると思う。(都内近郊地域参考)町が活性化されると思うので、人口減少に多少ならず歯止めがきくのではないかな。
		子どもの教育に補助、給付型奨学金等があると人材も育ち、茅野市のためになるのではないかな。卒業後、茅野市に住み、茅野市のために働いてもらえると思う。
		子どもから老人まで安全安心で笑って暮らせる時代であってほしい。当たり前を人に思い、自分を大切に自然が豊かで心も豊か、人を思いやる心が大切だと思うが、まず親が子どもを育てる。

分野	ジャンル	内容
教 育 分 野・ 野	スポーツ	スポーツのまち茅野市を目指すべく、アスリートの発掘育成に力を入れて欲しい、さらには子どもの体力UPプログラムをして底上げするべき。
		ボクシングが身近にできる環境。ボクシングは本当に良いスポーツ。生活習慣病にも対応できる。それに人を殴る痛み、人から殴られる痛みを知れば暴力や傷害事件も減らせる。
		スケートだけでなく、スキーにも力を入れてほしい。
分野	ジャンル	内容
産 業 経 済 分 野	農業	農業の後継者対策に力を入れてほしい。
		若い世代の農家がいきいきと仕事ができる環境。(1ターン含め)
	商業	諏訪地方は大きなデパートが年々なくなり、さびれた感が否めない。他の地域の良いところを学び、集合デパート(ラザ・イオンモールなど参考)アウトレット、大型店を誘致し、買い物客も松本山梨方面に流れている現状を何とかしてほしい。
		若い人が住みたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。例えば魅力ある企業が増えたり、カフェなどの商業施設があるとうれしいのではないかな。(自然も残しつつ)就職に関して、フォローや魅力発信が中高の頃からあるとなお良い。
		映画館、本屋、喫茶店を増やしてほしい。
		多くの人が移って住んでみたい軸となる産業の活性化。
		市の中心である市役所通りの活性化、高齢社会で店に行きやすいところになってほしい。
		産業の発展、活性化を図り、雇用を増やして若者が定着するまちづくりを目指してほしい。
		駅周辺が栄えていて活気づいている。
		映画館、本屋、喫茶店を増やしてほしい。
	観光	蓼科白樺湖、車山の観光を進めてもらいたい。ピーナスラインの整備、観光事業を充実してほしい。
		大自然に囲まれた環境だからこそ観光事業が活性化することを望む。
		観光で世界的に有名な町となり、国際交流が活発な安全安心なまち。
		つぶれたホテルをなくす。
		交通網が整備され、ゴースタウン化している蓼科を観光地になるようにしてほしい。例えばアウトレットを作り活性化し、働き口を広げたり、何か知名度をあげてほしい。
		住んで得する茅野市を目指す。せっかく近くに観光資源がたくさんあるが、利用料が高くてあまり利用できてない。市民(通勤・通学者含む)向けの割引制度(5割引きなど)の導入で休日は市民が観光客となって茅野市でプチ旅行できるようにしてはどうか。近隣の5市町村や山梨県等とも提携して割引エリアを拡大すれば、エリア内にお金が循環して観光産業が盛り上がり茅野市の財政も潤うと思う。
		日本全国、世界中の国々が茅野市を知っている様なまちになれば良い。御柱祭だけでなく、ずっと幸福、明るく、優しく、いつ訪れても誰もがほっとするホットタウンになれば良い。
		観光と産業の2面で東京から人が呼べる地方都市。
	雇用	若者が生き生きと働ける市(まち)。
		後継者が育つ町作りに力を入れていただきたい。
		いろいろな学歴の人が安心して就職できる茅野市。
		人口を増やし、育てやすい市政。老人でも健康であれば働いてゆけること。
		都内まで2時間で行けるので、通勤圏内を踏まえたまちづくりも必要なのではないかな。(現在軽井沢から都内へ通勤している人もいます)
		安定した収入が得られ、子育てのしやすい環境づくり雇用の確保が最重要と考える。
		財政の健全化を計らなければならないが、そのためには働く環境を整えるのが大切である。(若い人の収入を増やす)
		働く場所、交通の便が改善しないと若い人はどんどん出ていってしまう。
移住		農業や観光、産業などの発展と雇用がなければ支えていくことは不可能。空き地(休耕田)や空き家の活用法等も検討し、国内外から人を呼びこまなければならないと思う。景観もとても重要だと思うので、観光地の廃墟と化した建物の撤去または活用方法を早急に検討してほしい。
		自然を生かした産業とそのための雇用を生み出すこと。
		会社で働くには同じ仕事をしていても、男女の差が大きい。もう少し給料も上げてもらい、仕事をしながら子育てもできるようにしたい。一人でも多くの人が茅野市で生活していければ良い。
		雇用の場が安定的にある。未満児保育の希望が増えていると聞くので拡充する努力を。若い世代にも住むなら茅野市と思ってもらえるような環境作りを。
		高齢者も元気なうちはもっと働けるようなシステムがうまく機能すれば良い。
移住		高齢者が生活しやすいのはもちろんだが、一度茅野から外に出た若者が戻ってきたいと思えるようなまちづくりをしてほしい。
		観光地としてだけでなく、定住地として移住しやすい街としてブランド化してほしい。
		移住も若い人が多くきてほしい。
		関東圏、中京圏の真ん中に位置し、地理的条件は良いので移住のしやすい街として全国1位を目指すべき。そこから人口減少への対策を始める。
移住		"人口を増やす"という面ではやはり外部の人を呼び込むしかない。茅野市の良さをもっと掘り出してみる。縄文以外にももっとあるはず。茅野市に移住を考えている人に積極的に相談にのる。しかし、外国人の移住に関しては治安面で少し心配がある。

分野	ジャンル	内容
都市基盤分野	防災	防災を取り入れた教育をもっと行ってほしい。
		地震などの災害対策をしっかりとってください。
		東海、南海地震により東京などからの受け入れマニュアルの作成が必要である。
		30年以内に起きる糸静線の断層地震に対する対応を具体的に市民に伝えていった方がよい。
	道路・橋	行政がやるべきことは道路整備です。矢崎元市長のおかげで茅野市の道路はだいぶ良くなったがまだまだ。市街地はまだ整合がとれていない。歩道も設置されていない道路がある。良い住環境のところには自然に人は集まる。
		都市の区画整備を市内全域に。広い道路と歩道。
		道路が暗いのもう少し電灯がほしい。不審者が出るとたまに耳にするので、明るいまちづくりをしてほしい。
		道路整備、中途半端にせずしっかりとやってほしい。
		わかりやすい道路にしてほしい。観光客の方にたまに山へ行く道が分かりにくい。(国道299⇒ピーナスラインに行く道がわからないなど)
		健康づくりのためにもっと歩きたいと思うが、歩道が少なく車がこわくて歩けない。もっと安心して歩けるようになったらそれが健康にもつながっていくと思う。特に感じるのは長峰ヤマザキデイリーストアから中央病院、スポーツ公園に向けての道路。冬、雪が積もったりするとこわくて命がけ。この道路は東海高校の生徒も通学に使用するし、安心して歩ける散歩コースがほしい。車ばかりに頼らずもっと歩くことが必要と思う。
		10年後の茅野市、人口減少により道路拡幅の必要性があるのでしょうか。下諏訪、ジャスコ通りを見て将来の茅野市を見るような気がします。地元に住んでいる人たちが住みやすい道路にしてほしい。)
	景観	センスのないのぼり看板をなくす。どこからでも八ヶ岳がきれいなまま見ることができる町づくり。
	空き家	高齢化に伴う空き家対策、若手層へ低価格で提供するなど町活性化のために有効利用、補助推進事業を行う。
	公園	小さい子どもが公園で遊べる大型遊具をもっと設置してほしい。都会の公園には時間を忘れて遊べるほどの大型遊具が設置されているが茅野にはない。孫が休みのときに来て遊べる公園があまりにも寂しい。保育園等だけでなく、日曜日に外に遊びに行く公園にぜひ今の素晴らしい大型遊具を。
	公共交通	電車、バスの交通機関の充実を望む。
		車がなくても生活できる町づくり。 各地区に温泉施設があっても車の運転が困難な高齢者はなかなか行けない。巡回バス等冬はそれに特化して交通手段を考えてほしい。
分野	ジャンル	内容
行政経営分野	政策	10年後のビジョンを行政が出して市民にわかるようにしてもらいたい。それに対して市民が考える。市民を動かせるかが今のトップには欠けていると思う。
		市職員の自助努力に期待します。(待ちの姿勢ではなく積極的に働いてほしい)
		人口減少少子高齢化に対応できるまちづくり。増えれば良いということではない。
		無駄なところにお金を使わない。無駄遣いしない。無駄なものはいらない。当たり前なのが当たり前でできる茅野市を目指してほしい。
		茅野市の人口も減少することを今から頭に置き、お金も減りやりくりが大変になる事でしょう。若い子ども達に少しでも残してあげられるよう願う。
		子どもの世代に負を残さないように茅野市の財政状況にあったまちづくりをお願いしたい。
		色々な取組ができるためにも財政が安定している事が重要。税などが上がることは本意だが、楽しく生活していかれそうだと、あと田舎らしさのある安心な所で住み続けたいと思う。
		人口の減少は同時に公共サービスを享受する人口の減少ともとることができる。少ない人口でもまわる効率的な市政をお願いしたい。
		借金をしてまで無い袖は振らなくて良い。市政においてもバランスを重視して運営してほしい。
		必要のない物をつりすぎて税金にまわしてほしくない。土日開庁を望む。
その他	合併	まんべんなくの予算のばらまきでは将来計画は成り立たない。ポイントを絞り予算を配分する。駅、市役所を中心とした仕事がしやすい環境整備計画が必要である。
		6市町村の合併を希望する。
	住民自治	茅野市単独では生き残ることはできない。諏訪6市町村の早期合併を実現すべき。
		まちづくりとは茅野市民が体験したこと(助かった事、困ったこと)に対して話し合っていくことだと思う。地区ごとに市民と話し合う場をもっとつくる必要があると思う。
		年齢に応じた対応を望む。相互コミュニケーションできるようなシステム作り。
		助け、助けられ他人を思いやれる社会であってほしい。比べられない争わない社会。
		弱者、強者ともに共生できる街づくり(他の市や県、国のモデルになることをめざす)
		市民がいざというときに助け合える。コミュニケーションのとれるようになってほしい。
		自主防災組織は実質、消防団OBの溜まり場になっている。茅野市は田舎なのだから、人口減少、別にかまわれない。却って、人が減った方が、住み良い町になるのでは?
		自然豊かな立地条件と様々な生活場面で自助、共助による地域コミュニティ活動のあるまち。

分野	ジャンル	内容
その他	住民自治	お互いに助け合いの精神を忘れずに暮らせるような社会になってほしい。
	住民自治	私達高齢者が一人暮らしとなった時、住民による支え合い(隣組)で安心して住めるために、地域コミュニティの活性化が必要となる。活性化のためにも各地区に出向い、区民への講演等により意識向上のため指導体制を推進してほしい。
	住民自治	地域の中の高齢化は年々進み、小さい子どもとの交流もないので10年後が心配である。
	住民自治	子どもから高齢者まで健康で年取っても働け、明るい楽しい生活ができれば良い。
	その他	提案をしても市長の方向性は決まっている。
		茅野市がこんなにいろいろに取り組んでいることを知りました。
		「こうなりたい姿」を考えるより「こんな茅野市になりたくない」という発想が必要。きれいな言葉を並べるよりまず現実を見て、課題に取り組んでほしい。
		諏訪市や原村などは全国的に名が知られているが、茅野市は弱い。知名度をあげる活動をすることで発展するのでは。
		高齢化が相当進んでいると思う。年をとってもまだ活躍できる社会、子どもが成長して市外、県外へ行かなくても茅野市で暮らせる社会を目指してほしい。
		他力本願にならず、モラルのある生活を皆が送っていくことが大切。義務教育では教育の質を上げ、塾に頼らなくても良いようにしてほしい。
		アンケートに制限が多すぎる。フリーアンケートで様々な意見を書いてもらい、吸収すべき。答えがあらかじめ書かれてあり、これらの中から選べ、但し〇は1つとか2つ。これではいい意見がいない。本当に望ましい姿や目指すべきまちづくりが目的ならフリーに意見を設けるべき。
		都会へ出て行ってしまう理由をさぐってそこからヒントを得たり、若者に意見をきくことが必要だと思う。60歳すぎの年寄の意見よりも若者の意見を市も参考にしてほしい。
		住みやすい市、通りやすい市、子どもから高齢者の方まで楽しく生活ができたら良い。
		具体的ではないが、イメージとして、「ギスギスしない豊かさ」「足るを知る豊かさ」。
		自給自足、自分でできることは自分でやる。小さなことですが、このようなことの積み重ねでかなりの事ができるのでは。
		便利なだけの生活を求める浪費社会から恵まれた地域資源を活用し、心も体も豊かに暮らせる「明るい高齢化社会」を。
		若い人が住みたくなるような街づくり。塀がない家ばかりの安全なまちづくりを。
		豊かな自然とこじんまりした安全に暮らせるまち。
		外部からの人、企業誘致も必要かもしれないが、まずは茅野市民にとってやさしい、生活しやすい、安心して暮らせる住みたいと思えるまちづくりをしてほしい。
		廃校を老人ホームにして少しでもお金をムダ使いたないようにする。1人住まいの元気な老人を数人、シェアハウスに住ませ、仕事をしてもらう。空き家は移住する人に住ませて(ベンチャー企業など)会社として活用してもらう。休耕地を無料で貸して、市のできた作物の何割かを産直に納めるなど。
		今の茅野にはさして魅力はない。生活しづらい。生きづらい。横のつながりがわずらわしい。土偶や森林は誇れと言われても無理がある。税金を有効に使ってください。
		茅野にとって八ヶ岳や縄文文化はどこにもまけないシンボル。それをいかしつつ、みんな活気ある生活ができるようにしてほしい。